

〔遺伝資源の収集・評価・保存〕

アサガオ「団十郎」の開花特性と利活用
～「スポーツ祭東京 2013」開催へ向けた取り組み～

上原恵美
(江戸川分場)

【要 約】「スポーツ祭東京 2013」の開催期間にアサガオ「団十郎」を鑑賞できる状態にするための播種時期は、7月上～中旬ごろと推定される。

【目 的】

アサガオ「団十郎」は、「スポーツ祭東京 2013」で“東京ならではの花”として選定された。主催者側からは、開催期間の中でも2013年9月28日～10月14日の間に「団十郎」が鑑賞できる状態であることや、一般的なアサガオの仕立て方（行灯や緑のカーテン）以外の鑑賞方法が求められている。そこで、播種時期を変えて期待する期間に開花するかを検証し、またイベントに向く仕立て方を検討する。

【方 法】

1. 播種時期別の開花数調査：播種日は、2012年4月26日（以下、4月播種区）5月29日（以下、5月播種区）、6月19日（以下、6月播種区）、8月4日（以下、8月播種区）に200穴セルトレイに1穴1粒播種した。本葉1～2枚時に朝顔市で使用される6号鉢へ3本/鉢定植し、各定植日は表1に示す。4月と5月播種区は、3段の行灯ではつるが巻ききれないので、行灯をさらに継ぎ足した。調査項目は、開花数と10月13～14日に開花した花径長を調査した。
2. アサガオの仕立て方の検討：①くす玉：行灯の輪を組み合わせた球の中にアサガオ鉢を入れ、2株/鉢定植した。②パラソル：ビーチパラソルの骨を利用し、骨と骨の間は綿糸を渡して、アサガオのつるを巻き付けた。

【成果の概要】

1. 4月播種区は、開花が最も早く7月8日から開花が始まった。8月播種区以外の試験区では、7月～8月の間は開花数が少なく、9月11日から20日の間に開花数が最も多くなる傾向がみられた。4試験区とも、閉会を予定している10月14日まで開花が観察された（図1, 2）。
2. 遅く播種した区ほど花径が大きくなる傾向が観察された（表2）。
3. アサガオは、つる性植物のためフレームがあれば形作ることができたが、行灯と同様につるまき作業を頻繁に行わなければならない。また、球などの立体的な形は、風通しが悪くなることや作業性を考えて、フレームは15～20 cm程度の間が空いている方が良い。パラソルのように、本来の形を利用した方が作成しやすかった（図3）。
4. まとめ：開催期間に鑑賞できる播種日は、6月播種区から8月播種区の間が良く、特に7月上～中旬ごろの播種が適当と考えられる。

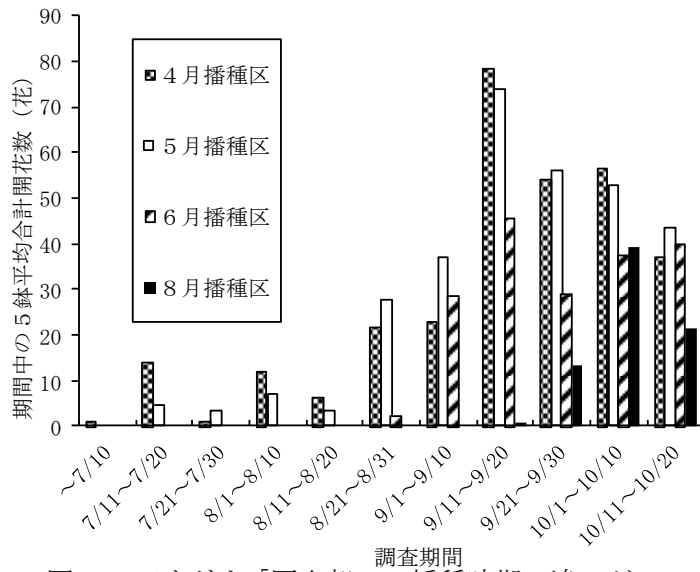


図1 アサガオ「団十郎」の播種時期の違いが開花数に及ぼす影響

表1 試験区の設定

試験区	播種日	定植日
4月播種区	4月26日	5月7日
5月播種区	5月29日	6月12日
6月播種区	6月19日	7月1日
8月播種区	8月4日	8月15日

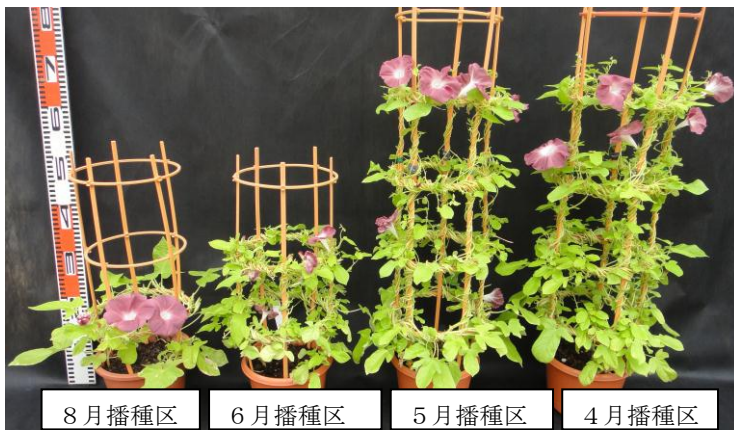


図2 2012年9月28日の開花状況

表2 播種時期の違いが花径に及ぼす影響

	花径 (cm)
4月播種区	6.6 ± 0.2
5月播種区	7.3 ± 0.1
6月播種区	7.4 ± 0.1
8月播種区	7.9 ± 0.1

※2012年10月13~14日に開花した
1区2鉢2連制。各区15花調査した。



図3 アサガオの仕立て方の事例
(左：パラソル，右：くす玉)